2017 年 発生 月	_	死傷災害発生事例	年齢	労働 者規 模
1	8~9	清掃中、デッキから2m下のエンジン場に落ち、右足首にひびが入り、脇腹を打撲 した。		1~9
2	10~11	LNG船内の建設現場にて足場にのぼって、ケーブル布設作業中、次の足場へ移動する時に、正規ルートを通らず、足場の手摺を乗り越えて移動した時に、足を掛けた部位が回転して、支えが無くなり4.3m下に落下した。	50	1~9
2	17~18	被災者は、2K工場西側において本社担当者と鋼材(長さ8340mm×幅2300mm×厚さ14mm×重量2.138t)の積み込み作業を行っていた。 鋼材をトレーラー荷台上に移動し荷台から20cm程の高さで一旦停止しセンターを確認するため荷台上へ移動した。 鋼材が反時計回りに揺れていたので手で押さえようとしたが耐え切れず、高さ約1.4mの荷台上から地面へ背部から転落した。 その際、担当者は次に積み込む鋼材の確認を行っていた。 外傷もなくその日は帰宅し、翌日も出勤していたが痛みがあるため病院で診察したところ負傷が判明した。	52	1~9
3	16 [~] 17	造船所ドック内に於いて、入庫した船舶を架台に固定作業中、架台(高さ1.5m) 上でジャッキ操作をしようとした時に足を踏み外し、右足首を床の鋼材に挟み負 傷した。	46	1~9
4	15~ 16	ハッチカバー上にてシリンダーの材料の配材作業に従事していた際、ハッチカバー上の作業が終了しハッチカバー上から段差をつたって甲板に降りようとしたが、雨天の為に滑ってしまいハッチカバー上から転落し、左足を強打し受傷した(高さ2m10cm)。	59	10~ 29
	17~	本人はブロックを降ろした後のポスト受けし架台(地上から約2.5M)に乗り、次 船のブロックサイズのマーキング作業を行っていた。 本人は架台に上がりA地点		1000

4	18	から移動しながらマーキング作業を行っていた際、足場板に乗り、B地点に移動 したときに足場板が不安定となり、2.5M下まで落下し、右側から落ちて右手首を	61	~ 9999
		受傷した。		
5	10~ 11	休憩時間に造船所敷地内にある更衣室で、汗をかいて汚れた作業着を着替えて、 階段を下りる際に、地面から3段か4段目で(1メートル位の高さ)足を滑らせて 落ちてしまった時に、右脇腹を内、肋骨を5本骨折した。	68	1~9
5	9~ 10	ブロックの製造において、グラインダー作業中、場盤より50cmの高さの治具作業でガーダーの上を歩いている時にバランスを崩し、転倒して右腰を打撲する。	25	10~ 29
5	16~ 17	定盤で船舶を手直しするため、Aが梯子を掛けて上ろうとした時、梯子がずれて 両手を着いた時に腰を痛めた。	66	50~ 99
5	11~ 12	艇体の上で、仕上作業を終え艇体上を移動中、通常では歩かない所を歩行中、艇体の傾斜のある部分に足を滑らせ、落下して右手小指を打ち骨折した。 治療後に右手小指の曲がり方に異常があった。	34	50~ 99
7	15 [~] 16	クレーンから降りて、機械修理中の箇所を覗くためピットをまたいだところ、足 を滑らせて、ピット下へ転落し背中を受傷した。	56	10~ 29
7	16~17	被災者は、当日朝より番船残工事のため本社工場より別の工場へ出張工事に来ていた。 夕方スロップタンクの残工事(刷毛塗り)をするためサイドパッセージのハンドレール上段(UDより2400)に立ちワイヤーロープを掴もうとした時足を滑らせアッパーデッキに転落し、被災した。	61	10~ 29
7	9~10	被災者は、共同作業者A、Bとともに指示を受けた作業を朝から開始した。 外板下側シームの梯子を仮設するため、作業者Bが腕木を設置し、その後作業者Aが梯子を腕木に載せ、被災者本人が梯子を腕木に固縛しようとブロックからハシゴに乗り移った。 2段ぐらい降りたところで、腕木が回転してブロックから外れ、梯子とともに6m下の定盤に落下した。 梯子が倒れる際に、手は梯子の踏板を握っており、梯子にぶら下がるような体勢で落ちて踵から着地し、そのまま梯子とともに倒れこむ恰好になり、胸部が定盤と梯子に挟まれ、受傷した。		1~9
7	8~9	工場内にて、一人でハシゴを下りようとして一段目に足を掛けた際、足を滑らせ	39	10~

		約1.3mの高さから地上に転落し負傷した。		29
7	11~ 12	船外弁の漏れ確認をした後に下りる際、足元を見ずに後ろ向きに下りたため、段 差になっていた所に落ちたため、横腹(右側背中・腰の上)を打った。	64	10~ 29
7	15~ 16	大組D2定盤で鉄工完了ブロック(94t)をD4定盤に移動するため、200tクレーンのワイヤーを玉掛けした。 ブロックから地上に降りる時に、中段(1,050mm)の高さでバランスを崩して墜落した。	29	50~ 99
7	16~ 17	単独でGR作業に従事していた際、DK上の作業が終了し、BOAT、DK反壁下部(階段側面)のGR作業のため、POOP、DKへ降りる階段を移動していたとき、ゴーグルを着用したまま移動したため視界が悪かった。 また階段が船舶用のため、端部が丸くなっており滑りやすく、BOAT、DKから4段降りたところ(POOP、DKから7段目、高さ約1630mm)で階段を踏み外し、POOP、DKへ転げ落ち、その際にPOOP、DKにあるウインチに右目をぶつけた。	50	1~9
7	11~ 12	当社ドッグ内において、新造船の建造中、船の周りの足場の組立て作業中に、鉄製の階段に横掛けの足場を組み、更に上部の足場を組もうと足場板に乗ったとき、角材のネジ止めが不十分であったため、角材と共に高さ約2mから落下した。その際、進水用のレールに頭部・左肩・左手首を当て受傷した。	75	1~9
9	11~ 12	造船構内ブラスト工場内で、製作中のブロックの手すり足場を解体中、足をすべらし高さ約2.5mの所から落下し、両足かかとを骨折した。	57	1~9
9	8~9	工場内サブ棟作業場で、次の作業段取りをする為に鋼製パレットにある品物(アングル材)が東になっていたので、仕分けしていた。 鋼製パレットの上にある品物(アングル材)の間を歩いて品物(アングル材)250×90、長さ3mの部品を確認し、クレーンで吊る段取りをしていた所、鋼製パレット4m×6mを2段重ねた上約1.7m上でアングルの上に乗ってしまい、足を滑らし、地面に転落したものである。 着地時に、右足のかかとから着地したと思われる。	31	10~ 29
9	17~ 18	艤装船内の右舷側にてデッキ裏の磨き作業を行っていた、工具類保管用の棚としてアングル材にて枠組みをしていた上部に2mの足場板を敷き、その上を移動していた時足場板上から転落して被災した。(※転落時、グラインダーは停止状態。)	49	1~9

10	15 ~	建造ブロックの上で、上部のハッチ開閉用レールを溶接作業するのに墜落防止柵の中に入り、スライド式ハッチを開放中にバランスを崩し、開口部から約7m下に墜落した。	24	1~9
10	14~ 15	(P) の掃除をするため、ブロックに上がり溶接工の道具箱を跨ぐ時、ブロック 端部のBKTに足が引っ掛かりバランスを崩し、約1.5m下の定盤転落した。	49	1~9
10	13~ 14	被災者は、F定盤のS-ZダンクブロックGS-8F(P)の足場仮設中に、搭載後に使用する梯子を、ブロック端部に立て掛け、ブロック上部に引き込むために、ブロックをよじ登っていた時にブロックの傾斜で足を滑らし、高さ約1.5m下に墜落し、右足踵を負傷した。	41	1~9
10	16~ 17	工場第7船台に上架中の新造船BT080の機関室上部開口部に立て掛けてあったアルミ製脚立(天板迄1200m/m、全長2400m/m)にて、機間室に降りる際、脚立を延ばした状態で反対に据え付けていたため、真ん中でくの字に折れた。 その反動で被災者は、機関室内底に落ち(高1500m/m)右肋骨2箇所及び右足踝を骨折した。	64	1~9
11	13~ 14	センターランプのノンスリップ保護の為、養生シートを走行面に敷く準備を始めた時、強い突風が吹き、センターランプ開口部の走行端にいた本人は持っていた養生シートが風にあおられ(推測)、バランスを崩しセンターランプから岸壁に落下して海に落ちた。	28	300 ~ 499
11	17~ 18	トラックに荷物を積んでいる時に足を踏み外して、荷台からコンクリート地面に 肩から落ちた。 暗い所での作業で周りがよく見えていなかった。	51	30~ 49
12	13~14	朝礼時に作業指示および安全指示を受け、2号ドック修繕船プロペラ付近にて作業を行っていた。 午後からは船体付加物の上(高さ約1.7m)に乗り、プロペラ軸保護カバー取り付け作業を行っていた。 プロペラ周辺作業を半分終えたため、作業場所を移動しようと足場(高さ約1.7m)に乗り移ったとき、バランスを崩して背中から渠底に転落し被災した。	52	500 ~ 999
		罹災者は、朝から7区のFP5+6ドッキング溶接に従事していた。 FPの裏戻し作業で高所作業車に乗り、段取り作業を行っていた。 高所作業車から降りる際に、高		500

12	11	所作業車のバケットの降り口がFPブロックに近くて降りられなかったため、罹災	 	
		者がバケットの横側を乗り越えて降りようとした際、バケットの手摺りに足が掛	999	
		かり、高所作業車のバケット約1.5mから転落し、右膝を受傷した。		

出典:https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to: https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206 09.html